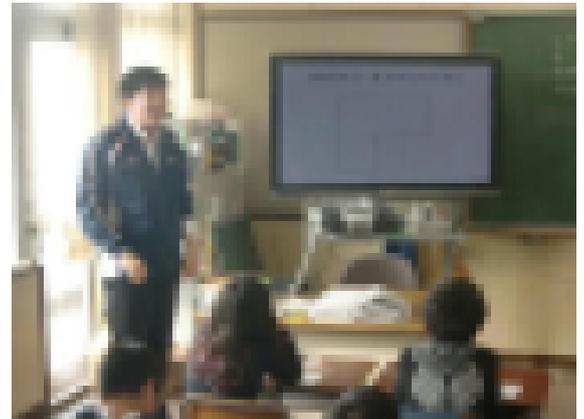


学びの実感

ことばのちからは 生きる力

広さを調べよう

- ◎昨日は、4年2組三浦学級での全校授業でした。事前検討会で「いろいろチャレンジしてみよう」ということになり、以下にその取組を書きました。
- ◎ひとみ先生と協力して、発表児童をチェックし合う所はさすがです。スムーズに3つの基本形の発表者が決まりました。



◆今回の取り組み◆

事前検討会の中で…

- ①アナウンスの工夫
 - ・「は、か、せ」を強調して取り組んでいく。
 - ・自力解決の時に確認しながら進めていく。
- ②ペア学習児の工夫
 - ・相手の考えをメモしていく。
 - ・相手の考えを聞いて、評価をする際の工夫をする。
 - ・分かったことをメモさせる。
- ③具体物を渡す
 - ・自力解決の手助けになるように、具体物を提示する。
- ④視聴覚機器の活用
 - ・導入とまとめに視聴覚機器を活用する。
 - ・苦手な児童にもイメージしやすいようにする。



【事後検討会】

〈自評〉

- ・2年生、5年生からの流れを受けて考えてみた授業でした。
- ・適応問題にどれだけ時間を残せるかが気になってしまいました。できれば、もっと自力解決に時間を掛け、もっと子供の考えを取り上げたかったと思いました。
- ・ペア学習の表を工夫してみました。ご意見をお願いします。

〈参観者から〉一部抜粋

☆視点の1つ目

- ・フラッシュ教材が良かった。反面、公式等が残らなかったのが残念。あれば、子供の思考を助けるきっかけになったと思われる。
- ・子供からでたヒントが良かった。
- ・一番最初に「長さの確認」をしておくべきだったと思います。
- ・ヒントが良かったと思いますが、ちょっと多かったかも…。
- ・下位軍の手助けになるように、板書を残すことも大切だし、計画をきちんとしておくことも大切ではなかったか。

- ・ポイントとなる言葉の使い方に気をつけて みては…。
- ・「は、か、せ」をきちんと出しましょう。

☆視点の2つ目

- ・児童の発表の仕方「はじめに」「次に」など。普段のトレーニングの効果具がうかがえました。
- ・まとめ方を一工夫を。線を使う…切る…など強調した方が良かった。
- ・適応問題はとても取り組みやすかったと思います。
- ・評価の方法を再考を。自分の書いたプリントを見せ、説明し、そのプリントに友達の評価を記入してもらうなどの工夫もあれば、子供たちの説明する姿勢も変わってくるのではないのでしょうか。

☆その他

- ・アナウンスが良かった。
- ・板書計画を計画的に。
- ・「もとにする」という簡単な言葉ですが、学年が進むととても重要になってくるワードでもあります。大切にすべきだと思います。



【課題のリレー】 (有効・・・○ 課題・・・●)

○アナウンスを効果的に活用する。

●児童の視覚にうったえる板書計画，児童の思考を助ける板書計画のあり方について。

●児童同士の効果的な評価方法について。



校長先生・教頭先生から

- ・視点に沿った参観と，充実した話し合いをしていきましょう。
- ・課題のリレーをしっかりとつないでいくことを忘れずに。成果を出していく努力を怠らないこと。頑張ってください。

次回は…

1 1月29日（金） 3時間目

4年1組 齋藤学級

「共通部分に目をつけて」

※いよいよ来週の12月3日（火）が授業づくり訪問です。市川先生はじめ先生方，大変忙しい時期を乗り越え，やっとここまでたどり着きましたね。お疲れ様でした…まだ終わっていませんが…。全職員で協力し合い，すばらしい授業と検討会になるように一致団結して頑張りましょう。

乱筆乱文ですみません。修行していきます。m(._.)m